

平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

大阪市立今市 中学校

生徒数

117

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	29.72	34.19	40.16	53.04		90.44	8.12	184.40	18.00	40.93
大阪市	29.05	27.74	41.48	52.14	410.43	85.66	8.06	192.58	20.29	41.72
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
女子	24.42	25.84	44.25	47.29		60.63	8.98	164.37	12.00	47.54
大阪市	24.06	23.91	44.95	47.47	304.56	59.88	8.89	168.48	12.96	50.14
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61

結果の概要

- ・合計点を大阪市平均と比較すると、男子は0.79点下回っている(昨年は0.26点上回った)。女子は2.6点(昨年は0.6点)下回った。体力づくりの取り組みが十分な成果を上げていない。
- ・項目別にみると、大阪市平均を上回ったのが、男子が4(昨年6)、女子は3(昨年4)である。握力や上体起こし、20mシャトルランなどが数値が高いのに対し、長座体前屈、ハンドボール投げなどが低い。これは昨年と同じ傾向である。
- ・低い項目に重点を置きつつも、バランスのとれた体力・運動能力の育成が必要である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

- ・体力づくり運動として、ランニング・腕立て伏せ・腹筋・背筋・馬跳び・倒立などを授業開始時に継続して行っている。一定の成果が表れているが、運動能力とりわけ、投げる能力の育成面ではまだまだ不十分である。生徒が主体的に取り組む意識を持たせるように工夫が必要である。
- 3年間を通して、保健体育科の授業では、球技・陸上競技・水泳・器械体操・武道・ダンスの領域をバランスをとって実践している。また、技能の向上を図るだけでなく、スポーツする楽しさを体感させることを重視している。今後も指導法の工夫改善を図り、バランスのとれた体力・運動能力の育成を図り、運動習慣の定着を図る。また、生徒が互いに学び合う、教え合うようにさせていく。
- ・大阪市の部活動に関する基本方針をふまえつつ、運動部の活動のさらなる活性化を図る。